

名言なのか、迷言なのか、いずれにせよ戦後政治史に残ってしかるべき言葉であろう。「政治家は、あつせんする動物である」。支持者から頼みごとをされて、役所に働きかける。(1) そんなあつせん行為は国会議員として当然だと、かつて自民党議員が口にした▼1990年代後半、(2) あつせんにより金品を受け取るのを法律で禁止する動きが出たときの反対意見である。①ゲキロン(激論)の末、あつせん利得処罰法が成立してから間もなく20年。(3) 政治家の習性は果たして変わったのだろうか▼そんなふうに考えさせられたのが、自民党の上野宏史・厚生労働②セイムカン(政務官)の件だった。週刊文春に口利き③ギワク(疑惑)を報道され、おととい④ジニン(辞任)した。テレビが流した秘書とのやり取りの音声を聞く限り、よからぬ習性がうかがえる▼外国人の⑤ザイリュウ(在留)資格をめぐり、人材派遣会社と法務省の間に入って、お金を得ようとしていたように聞こえる。そんなことをしたらあつせん⑥リトク(利得)になるのでは、と言う秘書に対し「違うよ」と反論するところなど、⑦ハクシン(迫真)である▼内部の問題を告発する人のことを「ホイッスルブロー」と言う。⑧ケイコク(警告)のため笛を鳴らす人の意味で、最近では笛ならぬICレコーダーが武器になっているようだ。違法なあつせんがはびこっていないか、自民党は秘書たちに内部通報を⑨募(つの)ってみてはいかがだろう▼あつせん利得処罰法案が国会で審議されていた頃の朝日川柳にあった。(金蔓(かねづる)は裏から地下に潜るだけ)。⑩杞憂(きゆう)だったと、言い切れないことが悲しい。

〔2019年8月30日「天声人語」〕

問一 ①～⑩のカタカナ部は漢字に直し、傍線部は読みを書き入れなさい。

問二 傍線部(1)「そんな」の指示する1文を書き抜こう。

(支持者から頼みごとをされて、役所に働きかける。)

問三 傍線部(2)「あつせん」と同意味の言葉を文中から3字で抜き出そう。

(口利き)

問四 傍線部(3)「政治家の習性」を20字程度で答えよう。

(あつせんの見返りに金品を受け取ること。)

問五 「公の地位や立場を利用して自分の財産を増やすこと」を何と言うか。次の

( ) に適する3字を書き入れよう。↓ 私腹を(肥やす)